

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 3 月 1 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	関口雄祐
研究課題	睡眠行動および疲労回復から、行動学的生理学的に生物を理解する				
研究キーワード	睡眠, 疲労, 回復	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	14. 海の豊かさを守ろう	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2021年に引き続き、御蔵島（東京都）周辺海域に生息する野生イルカ群のドローン撮影による観察を2022年6月、10月に実施した。この調査は、天候・海況に大きく左右されるため、単独研究で、年に数回の調査では、分析に耐えるデータを得ることが困難であることが判明したため、共同研究として、進めていく準備を進めている。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>なし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>なし</p> <p>【学会発表等】</p> <ol style="list-style-type: none">青木幸大, 菊池デイル万次郎, 松林尚志, 関口雄祐; カズハゴンドウで観察されたタンDEM睡眠, 日本動物行動学会第41回大会(福岡) (2022年11月)関口雄祐, 井上聡, 勝俣浩; 飼育下バンドウイルカの睡眠行動の成獣と幼獣の比較, 日本動物行動学会第41回大会(福岡) (2022年11月) <p>3. 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none">調査旅費（御蔵島） <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <ul style="list-style-type: none">国際海洋生物研究所（鴨川シーワールド） 客員研究員（2019年度～；研究費年間30万円）東京農業大学 客員教授（2022年度～）日本動物行動学会編「動物の行動と心の事典（仮）」編集委員千葉商科大学学術研究助成金 個人研究 御蔵島「三方良し計画」：持続可能なイルカウォッチングを探る <p style="text-align: right;">（本文は2ページ以内にまとめること）</p>					